

成果指標				
成果指標	タクシーチケット発行率			
指標設定の考え方	適切な周知を行い、より多くの対象者へのチケット交付と利用促進を図ることで、通院・通学などの面で支出増になっている障害者の生活を支援できるため。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目標	50%	50%	50%	50%
実績	50.3%	52.3%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	26年4月からタクシー料金が改定された。初乗り料金が下がったが、走行距離が短くなった業者に対しては、不満の声も出た。金券タイプにして、限られた枠の中で利用者が使いたい分だけ、チケットを切れるようにしてはどうかという提案もあった。こうしたことを踏まえて、この制度を見直すことも必要ではないかと思われる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	4月からの消費税増税に伴う運賃改定について、市内タクシー事業者間で足並みが揃わなかったため、初乗り運賃に格差が生じ利用者に混乱を招くことになったが、市内の2事業者の金額が下がったことにより、経費は節減された。通院等にタクシーを利用する障害者にとっては、交通費の一部助成事業は必要とされている。全額一般財源であるが、必要な制度であるため事業継続をいたしたい。また、次回の消費税増税時期に伴う運賃改正が予測されるため、市内で統一した金額となるように事業所をお願いをいたしたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題